

5-1 放射線安全管理報告

1. 平成 29 年度放射線業務従事者の登録と教育訓練

産研放射線施設業務従事者に対する教育訓練が下記のとおり行われた。

- 継続者用（受講者：54名）

日時：平成29年4月24日（月）13:30～15:30（第1回）

平成29年4月25日（火）13:30～15:30（第2回）

平成29年4月26日（水）13:30～15:30（第3回）

会場：大阪大学コンベンションセンター3F MOホール

主催：ラジオアイソトープ総合センター

共催：医学系研究科（保健学専攻）、薬学研究科、工学研究科・工学部、微生物病研究所、産業科学研究所、蛋白質研究所、レーザーエネルギー学研究センター、超高压電子顕微鏡センター

講習項目：放射線の人体に与える影響

放射性同位元素又は放射線発生装置の安全取扱い

放射性同位元素及び放射線発生装置による放射線障害の防止に関する法令

放射線障害予防規程

平成 29 年度放射線業務従事者教育訓練

- 新規（受講者：27名）／継続（受講者：34名）

日時：平成 29 年 5 月 15 日（月） 10 時～17 時 15 分

場所：産業科学研究所 管理棟 1 階講堂

訓練内容：放射線の人体に与える影響と障害防止法

放射線を安全に利用するために

放射性の安全取扱い

放射線障害予防規程

RI実験室と量子ビーム科学研究施設、酸化ウラン使用室の使用法施設の実際の取り扱いについて

新規・継続・X線装置使用者・核燃料物質使用者（のべ名）

放射線業務従事者（新規）：13名

放射線業務従事者（継続）：60名

X線使用者（放射線業務従事者以外）：59名

核燃料使用者：12名

2. 放射線施設の検査・点検及び補修等

- ✓ 年2回（5月と11月）に自主点検を行った。
- ✓ 極短パルス加速器実験室のクライストロン室扉のサムターンカバーの接着不良の改善を行った。
- ✓ ライナック棟Sバンドライナックの改造の為、ビームダンプの遮へいが不十分であった。
- ✓ 毎月空間線量測定による環境放射線点検を行った。
- ✓ 定期検査及び定期確認が行われた（10月）。